

開校3年目の附属中

附属中教頭 廣瀬 光幸

令和3年4月に開校した附属中学校も、今年でいよいよ3年目を迎え、全学年がそろいました。4月に入学して、少しずつ附属中で生活に慣れてきた1年生。附属中での生活を1年間経験し、学校の中堅的な立場の2年生。そして、1期生としていつも附属中の先頭を走り、頼りになる3年生。

3学年がそろって、いよいよ附属中も本格的にスタートしました。

6月には、一高祭が来場者の制限もなく盛大に開催されました。



1年生は、祭り企画で多くの来場者に楽しんでもらえるような企画を考え、実践しました。2年生は、販売にチャレンジし、油そばと焼き菓子の販売、販売委員会は焼きそばを販売し、貴重な体験をしました。3年生は、高校生に負けないくらいのクラス企画を考え、来場者も多く、素晴らしい運営を行

いました。さすが、最上級生の企画運営でした。



部活動では、3年生を中心に、どの部活動もさらに活気が増し、昨年度以上の活躍が見られました。陸上競技部では、多くの生徒が県大会に出場し、関東大会にまで駒を進める生徒も現れました。また、吹奏楽部は、吹奏楽コンクールの県南大会を突破し、見事県大会出場を決めました。どの部活動も、今後ますますの活躍が期待できると思います。



夏休みには、学校説明会実行委員による生徒主体の学校説明会をシビックホール土浦で2日間開催しました。吹奏楽部や合唱部の発

表は、参加してくださった保護者や児童の皆さんに、素晴らしいインパクトと感動を与えてくれたと思います。また、動画制作班の動画は、附属中の「あるある」を存分に紹介したり、部活動の様子を紹介したりして、附属中のことがよく分かる動画でした。プレゼン発表では、それぞれの持ち味を十分に活かし、附属中での生活を丁寧に伝えることができていました。

また、英語プレゼンテーションフォーラムや高田宮杯英語弁論大会、英語の国際大会に出場する生徒など、附属中の目玉の一つである「英語教育」も充実してきて、生徒一人一人の英語力もアップしています。まさに世界で活躍できるグローバルリーダーの育成につ



ながっていると考えます。今後も「一高スタイル」継承しながら、一層磨きをかけて、附属中の更なる発展に向けて、教職員全員一丸となって、生徒の幸せのために尽力してまいりたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。